

# SDGs17 の目標の説明と小学生にも比較的わかりやすいターゲット抜粋

具体的な目標

日本ユニセフ協会 SDGs CLUB より <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/>

1 貧困をなくそう



## 地球上のあらゆる形の貧困をなくそう

たとえば、こんな問題が…

世界では、6人に1人（3億5600万人）の子どもたちが、「極度にまずしい」暮らしをしています。

1-1

2030年までに、世界中で「極度に貧しい※」暮らしをしている人をなくす。

※1日あたりに使えるお金が（食事、水、電気、住むところや着るもの、くすりなどすべて合わせて）1.25米ドル（約135円）未満で生活しなければならない状態

2 飢餓をゼロに



## 飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう

たとえば、こんな問題が…

世界を生徒40人の教室と考えると、その日食べるものがない、明日以降も食べ物をえられるか分からない状態の人が4人もいます。

2-1

2030年までに、飢えをなくし、貧しい人も、幼い子どもも、だれもが一年中安全で栄養のある食料を、十分に手に入れられるようにする。

3 すべての人に健康と福祉を



## だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう

たとえば、こんな問題が…

サハラ以南のアフリカ地域では、2人に1人の子どもが、かぜで肺炎になっても治療を受けられません。

3-1

2030年までに、赤ちゃんがおなかの中にいるときや、お産のときに、命を失ってしまうお母さんを、2030年までに、産まれる赤ちゃん10万人あたり70人未満まで減らす。

4 質の高い教育をみんなに



## だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう

たとえば、こんな問題が…

サハラ以南のアフリカ地域、西アジア地域、南アジア地域では、5人に1人が小学校に通えません。

4-1

2030年までに、男の子も女の子も、すべての子どもが、しっかり学ぶことのできる、公平で質の高い教育を無料で受け、小学校と中学校を卒業できるようにする。



**男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう**  
たとえば、こんな問題が…  
6 歳から 11 歳の子どものうち、一生学校に通うことができない女の子は男の子の約 2 倍です。

5-1  
すべての女性と女の子に対するあらゆる差別をなくす。



**だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちですっと管理していけるようにしよう**  
たとえば、こんな問題が…  
水道の設備がない暮らしをしている人は 22 億人です。トイレがなく、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は 6 億 7300 万人です。

6-1  
2030 年までに、だれもが安全な水を、安い値段で利用できるようにする。



**すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう**  
たとえば、こんな問題が…  
世界で電力を使えない人は 7 億 8900 万人です。

7-1  
2030 年までに、だれもが、安い値段で、安定的で現代的なエネルギーを使えるようにする。



**みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう**  
たとえば、こんな問題が…  
世界のもっと貧しい国々には、5 歳から 17 歳までの子どもの 4 人に 1 人が、労働を強いられています。

8-5  
2030 年までに、若い人たちや障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事ができるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする。



**災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう**  
たとえば、こんな問題が…  
世界では、約 37 億人の人びとがインターネットにアクセスできません。特に開発が遅れている国々にはの農村部では、17%の人が携帯電話の電波が届かないところに暮らしています。

9-4  
2030 年までに、資源をよりむだなく使えるようにし、環境にやさしい技術や生産の方法をより多く取り入れて、インフラや産業を持続可能なものにする。すべての国が、それぞれの能力に応じてこれに取り組む。

10 人や国の不平等  
をなくそう



## 世界中から不平等を減らそう

たとえば、こんな問題が…

多くの国でかつてないほど格差が広がっています。2017年には、世界のもっとも豊かな1%の人が世界全体の富の約33%を持っていました。

10-2

2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などにかかわらず、すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないようにすすめる。

11 住み続けられる  
まちづくりを



## だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくろう

たとえば、こんな問題が…

過去40年にわたって、人びとが避難や移住をしなければならなくなるような自然災害の発生件数が大きく増えています。

11-6

2030年までに、大気の水質やごみの処理などに特に注意をはらうなどして、都市に住む人（一人当たり）が環境に与える影響を減らす。

12 つくる責任  
つかう責任



## 生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう

たとえば、こんな問題が…

世界で生産されている食品の約3分の1（13億トン）が捨てられています。

12-3

2030年までに、お店や消費者のところで捨てられる食料（一人当たりの量）を半分に減らす。また、生産者からお店への流れのなかで、食料が捨てられたり、失われたりすることを減らす。

12-5

2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。

13 気候変動に  
具体的な対策を



## 気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう

たとえば、こんな問題が…

世界中で気候変動が起っています。2019年、日本の熱帯夜の日数は、30年前の約2.6倍でした。

13-1

気候に関する災害や自然災害が起きたときに、対応したり立ち直ったりできるような力を、すべての国でそなえる。



## 海の資源を守り、大切に使う

たとえば、こんな問題が…

私たちが使っているペットボトルやビニール袋などのプラスチックゴミが年間 800 万トン、海に流れ出ています。

14-1

2025 年までに、海洋ごみなど、特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らす。



## 陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う

たとえば、こんな問題が…

絶滅の危機にさらされていると推定される割合は、両生類 41%、針葉樹 34%、ほ乳類 25%、鳥類 14%です。

15-1

2020 年までに国際的な協定にしたがって、森林、湿地、山地、乾燥地など陸上の生態系と、内陸の淡水地域の生態系、および、それらがもたらす自然の恵みを、守り、回復させ、持続可能な形で利用できるようにする。



## 平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう

たとえば、こんな問題が…

世界のどこかで、5 分に 1 人、子どもが暴力によって亡くなっています。

16-1

あらゆる場所で、あらゆる形の暴力と、暴力による死を大きく減らす。



## 世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成しよう

たとえば、こんな問題が…

国際協力がますます必要とされている一方、2018 年に政府開発援助（ODA）※に使われたお金は、前年に比べて、2.7%（およそ 40 億ドル）減少しました。

※ 政府や政府関係機関が、開発途上国の経済や社会の発展、福祉の向上のために、開発途上国や国際機関に資金・技術提供を行うこと。

17-1

開発途上国の、税金やその他の収入を集める能力を向上するための国際的な支援などによって、国内の資金調達を強化する。

以上